

リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立若木小学校（佐賀県）【指定校】

【取組内容】 情報の収集における端末・クラウドを活用した教員の働き方改革に係る取組について

児童や保護者に対して、アンケートフォームを活用した各種情報の収集を行った。特に、保護者には、育友会に係る会議の出欠確認や意見の収集などを行ってきた。

また、教職員の研修時には、授業を参観した際の気付きなどを付箋に記入し、グループごとにスライドに貼り付けることで、情報を共有しながら話し合いを行うことにつながっている。



R6学校生活アンケート

B I U 印 文

4月からこれまでをふりかえって、あてはまるところに○をつけてください。

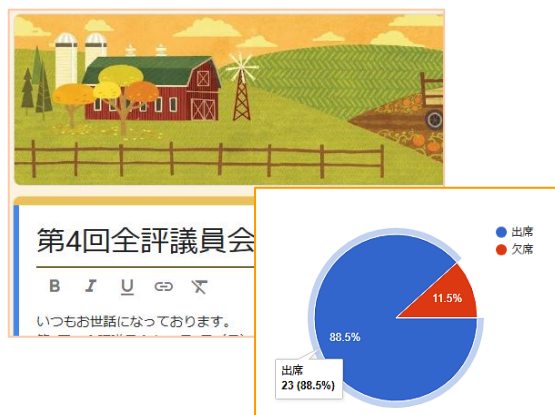
学年*

1. 1年生

2. 2年生

3. 3年生

児童対象のアンケート



保護者への出欠確認

柱	単元選択	振り返りの仕組み
単元ごと	観光客向けという目的意識をさせていることは、非常に良い。	地域を生かした教材としては、よいと思う。
	自分の興味に合わせて学習できたり、人と学び合うことで新しい発見があり、研究に合った単元だと思う。	郷土である武雄市や若木町の良さや気候という子どもたちにとって非常に魅力的な内容であった。
課題・	この単元での調べた点を校対したほうが友達と比べやすいのではなにかと思いました。	単元を設定するにあたって、調べた教材を校対したほうが良かった。特に紹介したい場所
		めあての確認は？振り返りに関わってくるはず。
		目標との関連がにくかった。それから、ガイドブックで振り返るべき。
		めあてに結びつくふり 子どもたちの振り返り

授業研究会での情報共有

- ・フォームの活用によって、紙の削減だけでなく、配付や集計（数値、グラフ化）を簡単に行うことができ、業務の軽減につながっている。作成したフォームの回答先リンクを別の保護者向けメールサービスにて知らせることで、保護者もスマートフォンから回答することができ回収の時間削減、回答率の向上にもつながっている。
- ・保護者の各種行事への出欠確認についても、名簿でチェックする必要はなく、回答結果をGoogle スプレッドシートに出力することで一覧として確認できるなど時間短縮と職員間での情報共有が簡易になった。
- ・校内研修で活用しているGoogle スライドは、入力を各自のタイミングで行うことができ、グループ内で情報を共有するだけでなく、他グループの意見も一目で確認できるよさがある。
- ・最初に様式やフォームを作る段階で時間を要するため、役割分担などしながら学校に必要なものを準備し、継続的に利用することで更なる効率化につなげたい。